
エッセイ「悪夢」

川越ふみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エッセイ「悪夢」

【Nコード】

N8632J

【作者名】

川越ふみ

【あらすじ】

お笑いエッセイ書いてみました。

(前書き)

小説ではなく、エッセイです。

今まで一番印象に残っている夢は何かと聞かれたならば、自分はこの夢をあげるだろう。それは小学1年生の時に見た夢であり、憶えている限り、最も幼い頃に見た夢でもある。

夢は自分の脳が作り出している訳で、結局はその時の自分の知識下で作りに出されているのだろうから、子供の見る夢は、とても幼稚で、そして情報網に乏しい。

夢の中の自分は、公園のブランコで一人遊んでいた。すると突然、空が怪しい色に変わったかと思うと、上空からそれはそれは恐ろしい男の低い声が聴こえてきた。

「俺は悪魔だ．．．」

悪魔が、「俺は悪魔だ」と自己紹介している。今考えれば、とても笑える。おそらく彼は、声だけとはいえ自分とは初対面だけに、「誰だよ」と思われるのを恐れたのだろうし、何より、子供が『悪魔』という響きにおののくだろうと彼自身考えたのだろう。その子供心がよく分かっていて悪魔の思惑通り、小学1年生の自分はかなり動揺した。

「．．．俺が10、数え終わるまでに、家に帰らなければ、お前を殺す．．．」

なんて一方的な言いぶんだろうか。なぜあんたが10数え終わる前に家に帰らなければならぬのか。それ以前に、なんで悪魔だかなんだか知らないあんたに殺されなくてはならないのだろう。今ではそう考えるのも当然だが、その時の自分は、「10数え終わる前に家に帰らなくちゃ！」と焦った。

「．．．いいか、10数えるぞ．．．」

悪魔が、自分が家に走り出す準備をするのを待っていてくれる。意外と律儀な悪魔だ。

「．．．もう一度言うぞ。俺が10数え終わる前に家に帰らなければ

ばお前を殺す．．．」

悪魔が、確認の為、もう一度このルールを説明してくれている。案外、優しい面もある。しかし、相変わらずその趣旨を伝えようとしない。

「．．．いいか、お前の家はあそこにある。ここからお前の．．．」
自分の家の位置を悪魔に説明してもらわなくとも自分が一番よく分かっている。しかしなぜ自分の家を知っているんだという話で、それはちよつとしたストーリーカーである。

公園のブランコから自分の家までは50mといった場所にある。自分はその悪魔の説明が終わる前に、猛然と家に走り出した。そんな10秒ルールなんて知った事か！第一、あんたに殺される筋合いはないし、こつちはなんだか知らないが生死がかかっているんだ！
「．．．あつ！．．．」

その言葉に、悪魔の焦りが伝わってきた。

「．．．123456789、10！！ダメだ．．．」
「ズルい！！」

意表を衝かれた自分は走るのを止め、空を見上げた。

普通に10数えてくれるものだとばかり思っていたのに、物凄い早いテンポで悪魔は数を数え切った。何か裏切られた感じがした。まさに悪魔だ。それ故に何も言えない。

「．．．ハッハッハッハッハー！！！！」

悪魔は勝ち誇ったように、大空に響く声で笑っている。その瞬間、空間が歪み、蛇などの獣達が何処からともなく現れた．．．。その衝撃で自分は目が覚め、現実に戻った。

今思えば、なんでそんな夢を見たのか不思議だ。それと同時に、子供の頃にしか見られない夢である事は確かだ。せひとも、夢鑑定をお願いしたいものである。この夢のように、とてくだらない結果が出る事には間違いないが。

(後書き)

くだらないエッセイをお読みいただき、ありがとうございました。
ご感想をいただけると、嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8632j/>

エッセイ「悪夢」

2010年10月28日02時46分発行